

コロナ渦における 算数・数学指導のあり方を考える

能代市立湍城西小学校 平塚 定

コロナ渦の対応を振り返って

①休校時における算数指導

- ・紙の教材による復習が中心
- ・子どもの発達段階とICT環境を考慮し、オンラインによる学習指導は困難と判断

・教育専門監としての提案～オンデマンド型コンテンツの制作

【留意点】

○制作方法

- ・デジタル教科書を活用～他の単元や他教科のビデオ制作の際に参考となるように、汎用性のある制作方法を考える
- ・ストリーミング再生を前提とし、1本の長さを15分以内とする

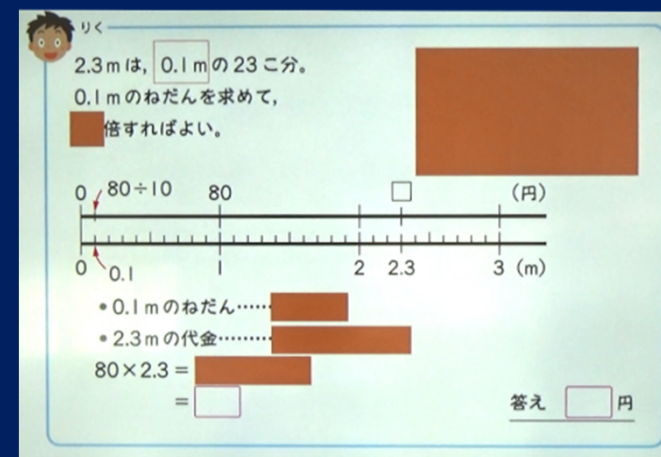
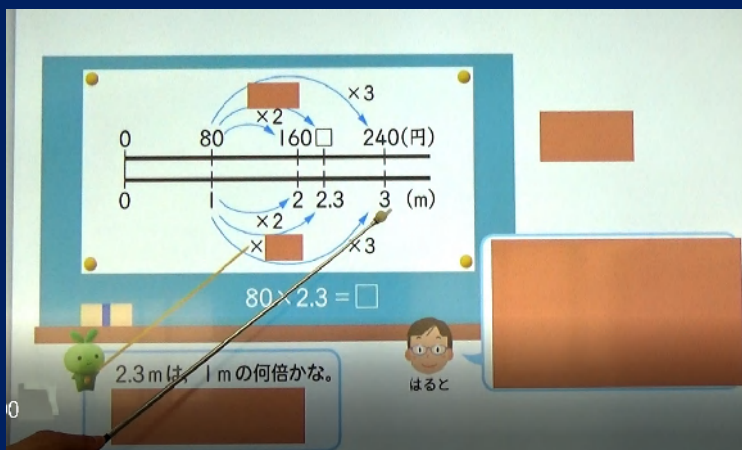
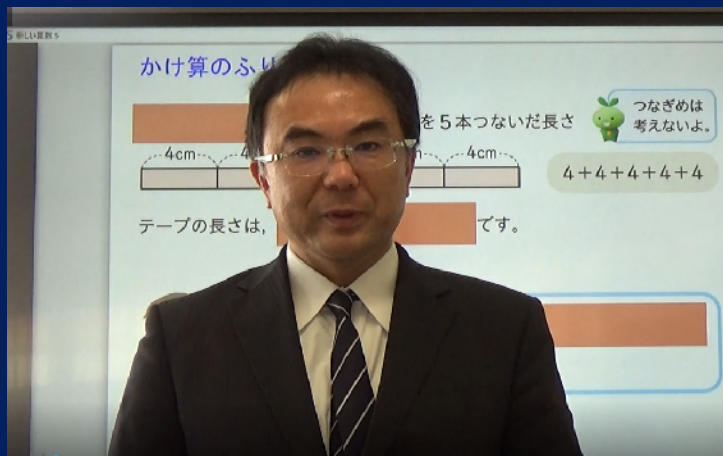
○内容

- ・子どもがビデオを視聴しながら自力で学習を進められるように、「書きましょう」「考えましょう」「解きましょう」などの明確な指示を入れる
- ・問い返しやゆさぶり等、発言に対する双方向のやり取りはできないので、深い学びにつなげるための視点となるよう発問を工夫する



オンデマンドによる学習を
主体的に学ぶ力を育てるための機会と捉える

実際の動画の場面 5年 小数のかけ算



発問例 小数のかけ算 第1時

- ・「これまでに学習したかけ算は、どんな計算でしたか」
- ・「リボンの長さが2mや3mのときは1mの2つ分、3つ分と考えてかけ算になりますが、2.3mのときも同じように考えることができるでしょうか」
- ・「 80×2.3 はどんな計算といえましょうか（今までのかけ算との違いどこでしょうか）」
- ・「数が変わっても同じように説明できるでしょうか」

②再開後の算数指導

- ・ 学習形態に制限～一斉指導を中心とし小集団での学習は行わない
- ・ 臨時休業に備え学習の進度を優先



協働的に学び合う場面が減り
教師主導による授業が増える懸念

主体的に学ぶ子どもをどう育てるか

主体的に学ぶ子どもをどう育てるか

キーワード

「問い」を発する子どもの育成

☆つながる 広がる算数

数や量を

条件を

場面を

変えると どうなるだろうか

→同じことがいえる？

→「例えば～」

前の勉強と

同じところはどこか

違うところはどこか

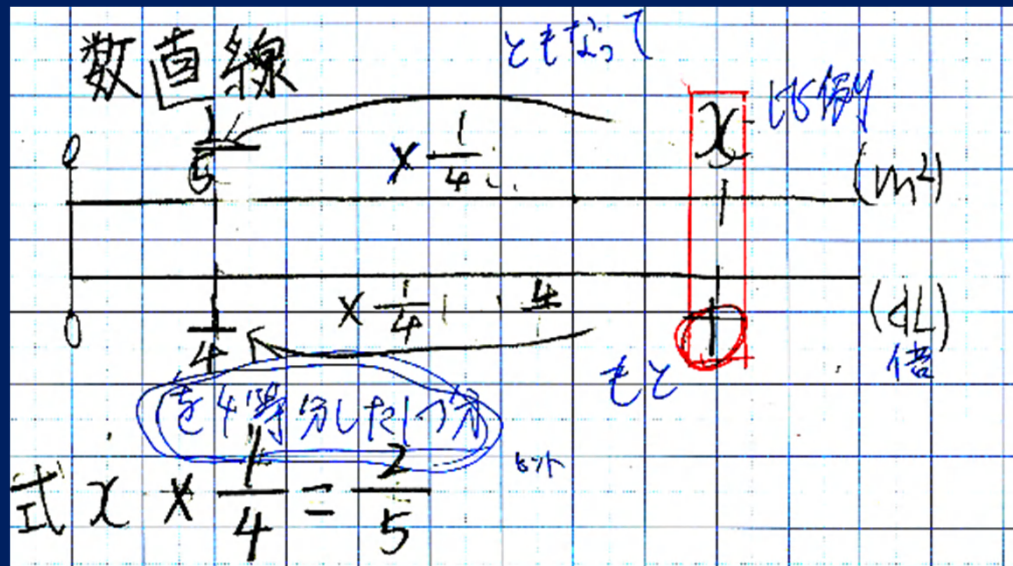


見通しをもち

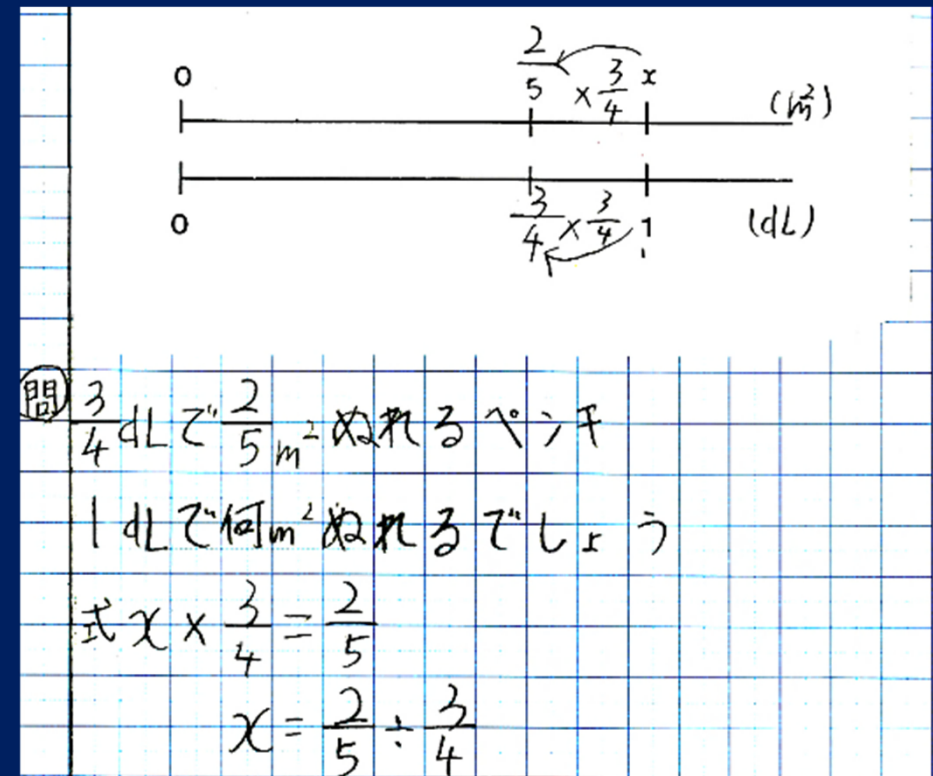
解決の方法を考え実行する

実践から～6年「分数のわり算」

第1時



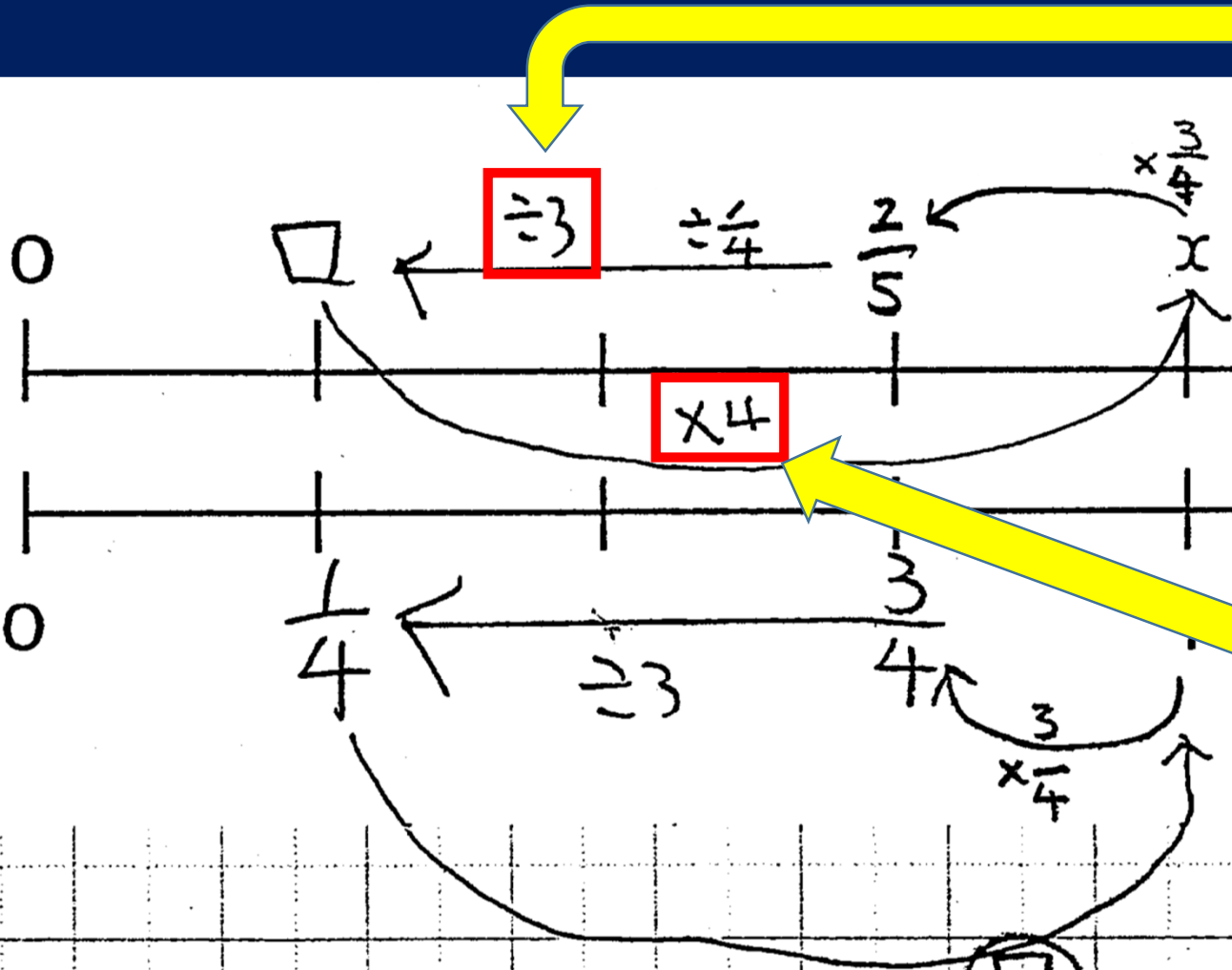
第2時



除数が単位分数の場合を考える

子どもの問い

「除数が単位分数以外の場合も
同じようにできるのかな」



1/4 dLでぬれる面積

$$\left(\frac{2}{5} \div 3 = \frac{2}{5 \times 3} = \frac{2}{15} \right)$$

1 dLでぬれる面積

$$\frac{2}{15} \times 4 = \frac{2 \times 4}{15} = \frac{8}{15}$$

25

